

は、支笏湖のチップ（ヒメマス）のにぎりなど道産の旬の魚介類を提供。「二つ一つ気持ちを込めて。（旅の）思い出になれば」と話した。もりも

## 共同研究など推進 南富良野高と協定

道文教大

【恵庭】北海道文教大は、南富良野高（上川管内南富良野町、全校生徒49人）と包括連携協定を結んだ。学生と生徒の交流や、共同研究の推進などで協力する。

協定は7月31日付。具

との森本真司社長は「北海道の旬の果物をギュッと閉じ込めた菓子を味わってほしい」と語った。

（柳沼雅貴）

体的な連携として、学生



協定書を持つ南富良野高の永谷校長（左）と、北海道文教大の渡部学長

が同校へ赴いて生徒の進路相談に乗るほか、アウトドアや観光に関する教育に力を入れる同校と、まちづくりについての研究を共同で進めることなどを検討している。

同日、同大で締結式が行われ、渡部俊弘学長と永谷哲治校長が協定書にサインした。永谷校長は「学習や部活、進路相談など、多岐にわたって連携していきたい」と期待。渡部学長は「小規模ながらいろいろな視点を持つ生徒が学ぶ学校で、未来の地域を担う若者の成長に関われるのはうれしい」と話した。（伊藤凱）